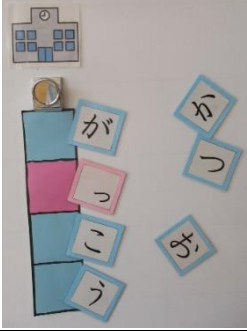


<p>【教材・教具名】 絵・平仮名カードとフレーム</p>	<p>【教科・領域】 国語</p>
<p>【教材の使用材料】</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・画用紙 ・磁石 	<p>【購入場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100円ショップ ・学校備品（A4用紙、ラミネート）
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードの単語が、何文字で構成されるか視覚的な手掛かりを得ながら理解する。 ・単語における促音の位置を意識する。 	
<p>○使用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「身近な物の名前」の題材で使用した。 ①絵カードをフラッシュカードのように提示し、全員で発音の確認をする。 ②絵カードをホワイトボードに提示し、その横に選択肢として平仮名カードを貼る。 ③生徒が平仮名カードを並べ替えて絵カードの単語を作る。 <p>○工夫した所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・促音は平仮名カードとフレームの色を変え、色を手掛かりに平仮名カードが選べるようにした。 ・絵カードの作成に当たっては、視認性を高めるため、写真ではなく、対象物と背景のコントラストがはっきりとしたイラストを使用した。 ・平仮名カードの作成に当たっては、見やすいHGP教科書体を使用した。 	
<p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・促音などの文字を抜かして書いてしまう生徒にとって、フレームを使うことで平仮名の文字数を意識することができた。 ・手でリズムをとって促音を意識する練習と組み合わせることで、単語の中に現れる促音の位置の理解を促すことができた。 	
<p>○参考文献・URL 特になし</p>	